



年少組・年中組の修了 おめでとうございます

暖かくなったり、寒い日があつたりしますが、木々の芽吹きや桜のつぼみが膨らむ様子から、春の訪れを感じます。

16日に年長児の卒園式を行い、年中が心を込めたお別れの言葉を録音で流しました。また、式場から退場する年長児を、廊下で拍手をしてお祝いしました。その様子は、「今まで一緒に遊んで楽しかったよ」「優しくしてくれてありがとう」という気持ちがこもっているように感じました。

17日から少し寂しくなった幼稚園。子ども達も「年長さん、どうしてるかなあ」「もう小学校、行かれた？」と、卒園した年長児のことが気になるようです。それでも、20日(月)に年少・年中組で愛宕山公園へ園外保育に行くときには、年中児が率先して年少児の手をつないだり、年少児もさっと並んで歩いたり、進級への期待が膨らんでいるようです。

入園した頃の年少児は不安そうで、涙が出たり、おうちのひとと離れがたかったり、先生の手をギュッと握っていたり……。でも今では、「おはようございます」と元気な挨拶をしたり、自分の身の回りのことが自分でできるようになったり、友達や先生と楽しい遊びに夢中になったり、笑顔いっぱいです。遊具の貸し借りや思いの行き違いなどでケンカもたくさんありましたが、少しずつ我慢したり、気持ちを立て直したりすることもできるようになりました。

年中児は、いろいろなことに興味をもってやる気満々。でも、どんな風にしていいかわからなかったり、友達とトラブルになったりすることも多かった一学期。園外保育や感動体験など、クラスでの共通体験をたくさん経験することで、少しずつ自分で考えたり、工夫したり、友達に自分の思いを伝えて一緒に遊ぶ楽しさを味わったりするようになってきました。今では、クラスみんなでルールのある遊びを楽しんだり、年長児に憧れて、一輪車や縄跳び等の難しいことにもチャレンジしています。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの園生活でした。そんな中でしたが、「子ども達の豊かな体験と学びのために」どうしたらできるのか、何に気を付ければよいのかを、一生懸命考え、行事や活動を工夫してきました。全園児と保護者の方が一堂に集まった運動会や、きらりんまつりも行うことができました。たくさん園外保育にも出かけました。きっと子ども達の心に残ることでしょう。これも、保護者の皆様がいつも温かい言葉をかけてくださったり、ご理解とご協力をいただいたりしたおかげです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。心も体も大きく成長した子ども達が、来年度もますます笑顔いっぱい・元気いっぱいに、健やかに成長してくれることを願ってやみません。一年間、本当にありがとうございました。



今年度、各種団体から助成金をいただき、子ども達の活動に使わせていただきました。ありがとうございました。

- ・平田地区交通安全対策協議会より 5,000円
- ・交通安全協会平田支部より 10,000円